#### 第1回地域安全まちづくり審議会議事録

1 日時

平成18年5月26日(金)14:30~16:40

2 場所

兵庫県公館 第1会議室

3 出席者

委員

岡委員(代理:伊窪神戸市立名倉小学校校長)、木谷委員、國松委員、齋藤委員、佐伯委員(代理:神吉県町村会事務局次長)、坂本委員、瀬渡委員、細谷委員、村井委員、山下委員、山田委員

県側

井戸知事、藤原県民政策部長、木村地域協働局長、藤原地域安全課長、石本県 警察本部生活安全部少年捜査課長ほか幹事課室等

#### 4 内容

(1) 会長の選任について

(事務局より山下委員を推薦)

(各委員異議なし=会長として山下委員を決定)

(会長より井上委員を会長代理に指名=会長代理として井上委員を決定)

- (2) 諮問「推進計画及び指針について」 井戸知事から山下会長へ、諮問文を手交した。
- (3) 審議会の運営について

(事務局から資料3、4に基づき説明)

(各委員異議なし=「運営規程」「傍聴要領」を原案どおり決定)

(4) 諮問事項について~推進計画と指針~

(事務局から、資料5及びパンフレットに基づき、地域安全まちづくり条例を、 資料6、7に基づき推進計画を説明)

### (会長)

- ・ 推進計画は、資料6のA3横長のイメージ図がわかりやすいと思うが、これ 自体まだ確定というわけではなく、県として今の段階でこういうことを考えて いるというもの。
- ・ 推進計画は、あまりに網羅的で、細かすぎるものとするより、骨太の計画として、基本的なもの、大事なものはキチッと押さえてあるものにしたいということだが、その点もまだ確定していない。
- ・ 推進計画にどういった理念なり、目標なり、あるいはどういう視点を盛り込

んでいけばいいのかという点についてご意見をいただきたい。

## (A委員)

- ・ 骨太の推進計画、条立てについて、A3横長資料に地域安全まちづくり推進 員の委嘱とあるが、委嘱をする前に、その人達を「養成する」プログラムが入 るべきではないか。
- ・ 県、警察本部なりが行う施策の内容と枠組みを作る、これは勿論重要であるが、それを受けて「地域は何をするのか」ということがはっきりしないとうまく行かないと思う。
- ・ 野球で例えれば、ピッチャーとキャッチャーの関係で、ピッチャーがどういう球を投げるかは、行政がどうするかということになるが、問題は、キャッチャーがどの程度の技量を持って受け止めるかがポイントである。県の施策を見て地域で実際動いてくれる、そういう人達をキチッとつくっておくことが実は大切であり、地域の方で動いてくれるキチッとしたノウハウを持った人を育てることが必要である。
- ・ 一つの例として、東京の杉並区は、新しいことに取り組む先進的な地区であるが、ついこの間「杉並地域大学」ができた。これは、その地域のリーダー養成を主たる目的としたものである。埼玉県や静岡県でも同じような大学をつくり、講座とか各種カリキュラムをつくっている。また、講座も色々あり、介護、公共サービスの利用要領とか、犯罪被害者支援のコースもあり、また、地域での子育て支援もある。要するに地域のいろんな方に、やってもらう内容を教育しておくものである。
- ・ この発想は、これから地域活動をやっていこうとする上で必要なことになってくると考える。地域安全まちづくり推進員になるためのノウハウをもった人の養成が大切で、単にお題目だけにならないよう、実際どう動くかというノウハウを教えるのが一番いい。「杉並地域大学」は、実際に先進的にやっておられる人を講師として、行政の理念の中で実際どうやって動いたら地域に活動の芽が育っていくか、実践を教えるものである。
- ・ 兵庫県の場合、地域安全まちづくり推進員を取り入れるのであれば、委嘱だけでなく、実体ある人に、そういう場を通じて実際にやってもらうことが大切であり、推進計画で「人材の養成」についてキチッと項目立てすることが必要と考える。

### (会長)

・ 推進員を委嘱する手前のところで、地域の人達の安全・安心に対するエンパワーメントをまず図らなければというご指摘と思う。また安全・安心だけでなく、全体的に、地域の様々な課題に対し、地域の人のエンパワーメントをどう作り上げていくかという点は、県の既存施策とも関連するので、そのあたりを整理し、情報提供等についてご検討をお願いしたい。

# (B委員)

資料に、犯罪に強いまちづくりとあるが、公園の整備はどこに電話すればよ

いのか、これが分らない。結局、何かことがあれば全部交番に通報している。 公園の整備をどこに言えばいいか、というところからキチンと書くべき。私達 の住むニュータウンは、昼間、子どもはたくさんいるが、働き手の男の人はい ないので、防犯、安全といわれても、守る側の大人は数人しかいないのが現状 だ。

### (会長)

- ・ 一つは、地域で安全・安全を担っている女性の目線から見て、推進計画のま とめ方、束ね方をどう考えたらいいかという指摘と、もう一つはやはリネット ワークをどうつくり上げていくかというところに関わっていく話だと思う。
- ・ 前者は、行政の施策の枠組みという点もあるから、どう受け止められるかは 悩ましいところがあるかもしれないし、もしそうだとすれば、推進計画とは、 別の形で、しかし地域としては別にそういう物が必要だということで、別につ くることも考える必要があるかもしれない。
- ・ ただ推進計画をつくっていくときに、地域から見た目線というのも当然必要であり、それは充分、意識する必要があると思う。
- ・ 引き続き各委員の意見をお願いしたい。

# (C委員)

・ 兵庫県内 10 の教育事務所には、それぞれ地域教育推進会議、推進員がおり、 神戸市の場合、垂水では、安全マップとか安全教室、去年は、子どものインタ ーネット対策に取り組んできた。それと、震災後は防災教育をしてきたが、こ れからは防犯教育をしなければいけないのかなと思う。

#### (D委員)

- ・ 私は長田区の学校にいるが、長田署の皆さんが、それぞれの学校に出向き、 寸劇で防犯教室を開いてもらっている。1年生から6年生まで体育館に入れ、 30分位の時間を使って見事に劇化し、1年生でもわかり易い形で開いてもらっ ている。こうした取組が各区全部に広がっており、子ども達に、自分達の安全 は自分達で守るんだけど、こういう場合はこうするんだよと、具体的に劇の中 で教えていただいている。
- ・ 学校は、地域・PTAと色々な方にお世話になっているが、違った視点で困っていることがある。それは、子ども達が安心して遊べる公園がない、いや安心して遊べるけれど、本当に子どもらしい元気な声で遊び、騒ぐと必ず学校に「子どもがうるさい。引取りに来い。」と電話が入る。このことがずっと気になっている。今、ほとんどの学校は、夏は大体5時まで学校で子どもたちを自由に遊ばせているが、地域に帰ると、地域のミニ公園では、安心して遊べない状況だ。本当は遊びたいんだけれど、隣に住んでいる方々から「うるさい」と言った苦情が出る。本当に子ども達が安心して過ごせる居場所づくりが必要と思う。
- ・ 地域の皆さんには、いろんな形で子ども達の登下校等の見守りとか、いろん な形で安全に関する取組が進んでいるが、昔、自由に大声を出して遊べた環境

が、少しずつ失われていることが、私個人として一番気になっているところだ。

## (E委員)

- ・ A委員が言われた大学だが、犯罪への対応には、ある意味で人海戦術的なと ころがあり、推進員に従って動ける人がどれだけたくさん出てくるかが重要だ。
- ・ 地域では、実際に犯罪に対応するためのこれという特効薬はなく、一人ひと りのライフスタイルに関わってくる。犯罪者に関わってみると、自分が感心す るような文化に触れることが大事と感じる。
- ・ マニュアル的なものだけを与えられると、いざというときに自分の判断でそれに適した行動ができない。誰かにお伺いを立てている間に、犯罪がドンドン 進んでいく。こういうことにどう対応すればよいかと思う。
- ・ ここに来るまでに、東大哲学科を中退し、京都大学医学部を出て医学博士になり、今は医療少年院に勤務しておられる岡田尊司さんの「脳内汚染」という本を読んでいたが、現状に驚愕させられる。ひったくりとかが多いが、一方で、私たちが注意しなくてはならないのは、身近で突発的な犯罪である。罪を犯す前段階で、そうならないようにするには、どうすればいいのかと思う。

### (A委員)

- ・ 先ほどの補足だが、私の知る限り、杉並区の例は、防犯、防犯といって、パトロールをやる人を作るという狭い物ではない。地域安全まちづくり推進員の 養成というより、地域活性化の中身を非常に幅広く考え、地域の人に実学的、 実践的なノウハウを持ってもらうのが大事だ。
- 他の県の事例等も調べていただければと思う。

#### (会長)

・ 安全・安心まちづくり、防犯に関するリーダー養成等についてどうなっているのか、事務局には、他府県の例等について情報収集していただき、できれば整理した物を我々に示していただければと思う。

## (B委員)

- ・ 私のまちは、この13年の間、テレクラの問題があったり、交通の問題が出たり、色々なことがあってその場しのぎのことをやってきたが、どこにその問題をまとめる本部があり、途中経過はどうなっているのか、いつも疑問に思う。例えば、地域で電気がついてなかったら誰がつけるのか、どこに連絡したらいいのか、マンションなら管理人なのか、理事長なのか。本当に単純な疑問だが。
- ・ ニュータウンに住む多くの家庭は共働きで子どもしかおらず、一部の者だけでの活動には限度がある。みんな仕事もあるし、家庭もあるし、地域の団体の役割もある。そこで例えば中学校は、4時になったら10人ぐらいの先生は出せますね、小学校は人数多いので20人ぐらい出せますね、警察は…というようにそれぞれがどこまでなら出来るのか、確認している。
- ・ 私達のまちでは、年に1回まち全体で掃除している。この筋はこちらのマンションの人に、この北側の道路は向こう側の・・・というように。これは例え

ば捜索の必要があれば、普段やっている掃除の範囲内で調べてくださいと言えば、まちの中だけは網羅できる。そういうものを活かしていく必要がある。

- ・ お互いが暗黙の内に「何となく助け合いましょうね」ではだめ。2日後の日曜日に地域で「安心ネットワーク」を立ち上げるが、とりあえずその一員として、出来ることをするという確約をしておく必要がある。
- ・ 地域で、例えばひったくりがありましたとか、空き巣が3件入りましたとか、 そうした情報の自治回覧板を回すには、お年寄りから子どもまで全部が分る物 でないと役に立たない。(行政の)こんな難しい文書で回されても誰も読まな い。また緊急の場合、昼間留守だったら回らない。お互い協力し合ってどうし ましょうという会を立ち上げないと。
- ・ ネットワーク立ち上げを機に、一歩ずつ前へ、地域の中でできることを、キ チッとやっていきたいと思う。

### (F委員)

- ・ 私は、2点、考えていることがある。
  - 1点目は、地域のリーダー養成に関連するが、警察庁のホームページを見ると、現在、自主防犯団体は2万団体を超えている。全国的に広がり、盛り上がっている。勿論、実態がないところもあるかとは思うが、「地域は自分達で守っていく」ということについては、かなり浸透している。
- ・ しかし、防犯活動というのは、やってみないとわからないが、非常に地味な活動で、なかなか楽しみを見つけにくいというか、続けていくことが非常に困難な活動ではないかと思っている。一日中、ただ歩いているだけという日が何日も続き、それが平和である証でもあるから、何もないのが一番いいのだが、言葉は悪いが、何かを期待してしまうところがある。
- ・ また、犯罪の数がどんどん減っていくのは成果の表れだが、そうなると「も うやめていいんじゃないか」となってしまうのを最も懸念している。私どもの 団体もそうだが、人の定着率が非常に悪い組織で、やめていく人が実際たくさ んいる。勿論また新たに入って来てくれるからこそ回っているわけだが、地域 となるとなかなかそうもいかないところがあると思う。
- ・ そういった意味では、今の段階から、いかに今のレベルを維持していくかを 推進計画に盛り込んでいかないと、減りはじめているときに慌てて何かをやっ ても、追いつかないということになりかねないので、いかに今の盛り上がった 状態を維持していくかということを視野に入れて考えるべきと思う。
- ・ 2点目は、最近、子どもが被害者となる事件事故が相次いでおり、子どもは もっと守らなければならないという方向に、大人の考えが向いていると思う。 だが、地域になかなか大人がいない中、子ども一人ひとりが事件事故に遭わな いよう気をつける教育からもう一歩進め、子どもがサービスの受け手であると 捉えるのではなく、サービスをつくり出すにはどうしたらいいか、考えてもい いのではないかと思う。
- ・ 例えば、集団登下校でもそうだが、何も大人がついて行かなくても、子どもが沢山固まって、子どもが互いに守り合えば、犯罪には遭わない。昔、薩摩や 会津では、郷中教育があり、15歳ぐらいの子どもがリーダーで、地域の子ども

をみんな束ねて面倒を見ていた仕組みがあったと本で読んだことがあるが、例 えば中学生が小学生を守るというプログラムを考えられないかなと思っている。

#### (会長)

- 安全な地域コミュニティという時に、安全だけの地域コミュニティであってはいけないし、地域コミュニティはそれこそ、オールラウンドプレイヤーにならざるを得ない。
- ・ 安全活動が高齢者の声掛けとか、地域のゴミ拾いとかといった形で、活動が 広がる、波紋が広がる、そうならないと、「そろそろやめてもいいのでは」と いう話になってしまう。
- ・ また、子ども同士、小学生・中学生・高校生の、お互いの役割が、安全の問題でもあるし、これに止まらず、もっと広い健全育成の話にもつながっていくことも考えられる。

# (G委員)

- ・ この3年間、犯罪は減少傾向にあるが、一時は非常に急増していたので、防 犯への総力を上げた色々な取組の成果が出始めたのかなと思う。
- ・ 昨日のテレビニュースで、小学生の子が連れ去られそうになって防犯ブザーを鳴らし、そのため犯人はバイクで逃げたが、別の近くにいた小学生が携帯電話で写真を撮り、それが決め手で犯人が捕まったとの事だった。その子達は小学校の防犯教室で対処方法を学んだばかりだったそうだが、それを聞いて、小学生でもすごいパワーがあるんだなと、防犯教室の効果が出ているのかなと思った。
- ・ 犯罪が減少していくと、危機意識は、どうしても低下していくが、そうならないよう、定期的に何かをやるとか、訓練をするのが大切だ。
- ・ これから推進計画を作るということだが、現場の方が進んでいる面があり、 まだまだすごいアイデアがあると思うので、現場を踏まえて対策を練る必要が ある。また数値目標をどう設定するかが気になる。

## (会長)

・ 現場は常に動いており、どう計画にフィードバックしていくかということと、 数値目標は、どういう目標が適切かということが大事と思うので、他府県の状 況等について、事務局から資料提供等をお願いしたい。

#### (A委員)

・ (資料6、A3資料では)地域安全まちづくり推進員の委嘱は、条例の7条「防犯に関する情報の提供、知識及び技術の習得」を受けた計画という形になると思うが、11条では「知識及び技能の習得機会を提供する」となっている。

条例の方は、はっきり「地域安全まちづくり活動に必要な知識技能の習得の機会を提供すること」とあるのに、それを受けて何をするのかというのがあまりないように思う。どうやって習得の機会を提供するのかというところが推進計画の中に出てこないと、条例に見合った計画にならないように思える。7条

と11条との関係を整理して、あわせて計画を立てないと。

### (会長)

- ・ 第11条の主体は県であるが、7条は、地縁団体等が、防犯意識の啓発とか、情報・技術の提供といった地域安全まちづくり活動に取り組むよう努めると規定しているのだから、そういう意味では、必ずしもどちらがということではなく、主体としては、11条で県が支援する、それに対して、地域団体等は積極的に参加をしていくということでも一つの整理にはなっているのではないか。7条と11条の関係は、それぞれの主体がどういうことに取り組んでいくかということだろうと思う。
- ・ つづいて指針に移るが、場合によっては、推進計画の議論にまた戻っていた だいても結構かと思う。

(事務局から資料8に基づき、指針を説明)

# (会長)

・ 「推進計画」は、県の取り組みの枠組みとなるものであるが、「指針」は、 それぞれ施設の設置・管理者、例えば深夜営業等の営業者の方、あるいは、子 どもの安全に係わる保護者、地縁団体、学校、その他の方がどういう取り組み をするのか、いわば準拠していただきたい内容を盛り込んだものを作るという ことで、条例上4種類作ることになっている。

先程の推進計画と併せてご意見をいただきたい。

#### ( H委員 )

- ・ 私の住む芦屋市では、ずいぶん前からまちづくり条例があるが、県の条例は、 少し遅きに失すると思っており、市との整合性が余り見えてこない。
- ・ 私がやっている自治会の視点から言うと、県の施策より市町の施策の方が身近。それから県警よりも市の警察の方が身近。学校も、県の教育委員会よりも市の教育委員会・小・中学校の方が身近だ。そういった所からの色々な指示と住民の意見で活動しているのが現状だ。
- ・ 県が指針・推進計画を作られても、人の整合性の問題があるのではないかと思う。私も色々な町へ防犯の話に行くが、私の住む阪神間は、結構犯罪も多くて大変だが、逆に郡部では、まだカギを開けたまま農作業をしている町がたくさんある。そういうところに私が行って話をすると、残念ながらチグハグな感じになってしまう。兵庫県全体は広いので、そういう町にも適応できるのか、疑問を抱いた。
- ・ まちづくりは、防犯だけでなく、福祉・環境・少子化・高齢化全てを網羅している。防犯とは「自分のことは自分で守る」、「自分の家は自分で守る」、その次が「自分のまちは自分で守る」だと思うが、この条例ではずいぶん地縁団体に力点が置かれているように思う。条例では「努める」となっているものの、このように定められると、知ったからには何かしなければならない。現実の現場は、残念ながらやる方が非常に少なくなっている。「子ども・高齢者を守

- る」と書いてあるが、現実としては、高齢者が高齢者を守らなければならない。
- ・ 都会では、多くの女性が働いているし、当然、昼間は男性もいないので、そういうボランティアが現実には非常に少なくなってきている。そういう環境にありながら、防犯もやらなければならない、あれもこれもと指示が出ると「もうヤーメタ」となってしまう。そうなるとその組織は潰れるのであり、継続は力だが、その継続がなかなかできなくなっている。
- ・ 条例を作っても魂を入れずにならないよう、やはり現場の意見を沢山取り入 れて、推進計画、指針づくりをやっていかないといけないのかなと思う。

現場がどうなっているのか、もう少し知っていただき、何かやっていただけたらなと思っているし、私もやりたいなと思う。また、兵庫県の「参画と協働」と「防犯」は、表裏一体の関係にあると思うので、そのあたりも整合性をつけた形で、何かできればと思う。

- ・ 防犯というのは、「起きた後どうするか」というのも大切だ。私の町でもつい先日強盗事件があったが、その方が非常によく人相を覚えており、5分で警察官が捕まえてくれたが、常日頃から、私達の町では訓練をやっていたので、うまくいったのだと思っている。防犯は見回りだけではなく、起きたときにどうするか、子どもの問題でも同じだが、起きたときにどうするかが防犯であり、そういう視点が多少抜けているなという気がする。
- ・ 防犯は、まちの中では、単に一つの問題ではなく、色々なものが付随するので、もう少し、防犯の範囲を広げることにより、犯罪もなくなるように思う。
- こういう内容は、推進計画に入れるのは非常に難しいとは思うが、指針には、 何が入るのかなと思う。

#### ( I 委員 )

- 自分が自分の地域でどんな活動をしているか、ということが基本理念だとか、 基本の目標だとかに当てはめられればいいなと思う。
- ・ ここ 2 年半ぐらい前から、手探りではあるが、自分達の地域における防犯の 強化策に取り組んでいる。例えば、子ども達約 250 人の登下校の見守りやあい さつ運動をしているが、不審者もさることながら、今日あの子は悲しそうな顔 をして帰っているな、どうしたのだろうというように、子ども達の顔色を見な がらパトロールをしている。
- ・ 高齢者、ご婦人については、防犯学習会を昨年3回実施した。阪神南県民局 の方に出向き、県から提供していただいたビデオの鑑賞会を行ったが、非常に 有効だったなと思っている。
- ・ それから、「夜間パトロール」。防犯灯で球切れがないか、あるいは 20 ワット位の電球でこの場所は安全なのか、ここは 80 ワットの水銀灯に替えないといけないのではないか、逆にここは明るすぎて、住んでいる方が眩しくて迷惑だから取るべきではないかといった活動を行っている。
- ・ 地域住民全体については、防犯に限ったことではないが、月1回「自治会だより」を私が作り、広く広報している。
- ・ 地域の方から、ここの町に住んで良かった、引越してきて良かった、これからもこの町に住み続けたいということを年末の特別警戒などの折に聞くと、非

常に地道な活動ではあるが、頑張ってきてよかったと思う。

- ・ また、子どもの登下校、高齢者の見守りのほか、犯罪の未然防止にはどうしたらいいかということで、約1年位前から「防犯標語」を呼びかけた。人によって思いは色々で、防犯だけでなく、犬や猫の飼い方のマナー、交通ルールも含め、約1,000所帯あるが、18箇所の掲示板のほか、あちこちに掲示している。
- これがあるからうちの町には絶対悪を寄せ付けない、私達の地道な活動とか 企画が活きていると自負している。

# (会長)

- ・ 現場、地域での取り組みを踏まえた上で、どう推進計画を作っていくかが非常に大事なところなので、引き続き現場でのご意見をいただければと思う。
- ・ また、もう少し具体的な施策、事業、取組のところで、県と市町の関係について、しっかり捉えていかなければならないと思う。
- ・ これからまとめ案の作成作業を進めるが、指針は、できれば 10 月ごろを、 推進計画は、年内策定を事務局では考えている。一応それを念頭に作業を進め たいが、それには、ある程度専門的なところで議論していく必要があると考え る。
- これは提案だが、部会を作って議論を進めてはどうか。そして部会の議論を 全体会へ示し、ご意見をいただくというスタイルを取っていけばどうかと思う がいかがか。

(部会設置について、各委員了承)

### (会長)

部会の名称は、とりあえず「企画部会」とする。部会の委員については、会長から指名させていただく。

(会長のほか、池田・井上・岡・瀬渡・高田委員を部会委員に指名)

・ 企画部会の議論等の状況は、できるだけ各委員にお伝えしていきたい。

#### (5) その他

(事務局から資料9に基づき、今後のスケジュールを説明)

#### (会長)

- ・ 今回、充分に発言できなかった委員は、メールその他で結構なので、事務局へ、ご意見を出していただければと思う。
- ・ また部会は、先程のメンバーで動き出したいが、場合によっては、もう少し 部会のメンバーを広げたほうがいい場合があるかもしれないので、私の方にお 任せいただき、弾力的に運用していきたい。

#### (閉 会)